

住吉商業高校の 1年間の取り組みについて ～全校生徒でマイボトル～

大阪府立住吉商業高等学校
商業科 瀧本寛人

BRITA Japan株式会社・大阪府農林水産部脱炭素エネルギー政策課・大阪市環境局・大阪市水道局

①5月末 「環境教育講演会」 マイボトルの大切さを 全校生徒へ伝える



「なぜマイボトルを使うのか」を考える講演会

ペットボトルゴミの削減やごみ拾い、プラスチックごみについての調べ学習などのきっかけとなる講演を、4団体の方々に行っていただきました。

講演後にBRITA Japan株式会社から全校生徒にマイボトルが配られ、全校生徒でマイボトル運動を行うことになりました。

②6～7月

「移動式給水機設置」
マイボトルを活用できる場を
提供していただいた



| 本校ではじめての給水機の利用がスタート

当時、本校では使用できる給水機が10年近くなく、生徒たちは自動販売機でのみ給水をしている状況でした。そのため、水道局にお願いし、夏休みに入るまで移動式給水機を設置していただきました。

夏休みには、同窓会から支援をいただき、校内に5か所（6台）の給水機が設置され、2学期から気軽に給水ができるようになりました。

③ 9月

「校内給水機使用」
校舎内外含めて5か所
給水スポットを設置



| 一般開放時も使用できるように校舎外にも2台設置

9月から生徒たちは各学年の校舎に1台給水機が設置されたため、無理なく気軽に給水ができるようになりました。校舎内には合計で4台設置されており、4か所の給水スポットとなっています。そして体育館に通じる校舎外の通路にも新たに2台設置しました。

通常は体育館に設置しますが、一般開放時に外部の方にも使っていただけるように、分かりやすい場所に設置しました。外での部活動部員も気軽に使用できるようになっています。

④10～12月

「ポスター制作」
全校生徒に使用して
もらえるように願いを込めて



| SDGsから水について

寒い時期に差し掛かるにつれて、給水機の利用者数が減ってきていると感じていたため、生徒たちと一緒にポスターを作成することにしました。すると先生方の中から授業内で取り組もうとの声があがり、学年単位でポスター作成を行うことになりました。

全員でSDGsについて考える中、水について調べる生徒が多く存在したことは、このマイボトル運動の効果と考えています。

⑤1月

「水に関する発表」
それぞれの生徒が
水を中心に発表を



| それぞれが感じた課題研究

水道水を飲むことができる国は世界で何か国あるか、大阪で給水スポットを増やすには、などさまざまな視点から生徒たちが発表を行いました。水に関する旅行プランもあり、幅広い発表が行われました。

⑥補足

TEAM EXPO2025参加

こころの再生表彰

産業教育調査研究会で呼びかけ

| 他校への呼びかけ

マイボトルでTEAM EXPO2025の共創チャレンジに参加。産業教育校が集まった会議でもマイボトルを学校全体で取り組んでいる様子について発表しました。

来年度の取り組み

プレシヤス プラスチックへの 取り組み



| プラスチックごみを新たな価値へ

プラスチックごみを集めて洗浄し、新しいものに作り替える取り組みを来年度初めて行います。北大阪高等職業技術専門校と共同で取り組む予定で、必要となる機械の導入は北大阪高等職業技術専門校が担当し、企画及び販売などは住吉商業高校が担当します。

ご清聴ありがとうございました。